

音声入力の早見表

句読点・改行の言い方と、始め方・止め方（日本語）

① 句読点・改行の言い方

入りたいもの	Windows 11 音声入力	Mac 音声入力	iPhone 音声入力	Android Gboard
。句点	「句点」	自動で入る	自動で入る	自動で入る※1
、読点	「読点」	自動で入る	自動で入る	自動で入る※1
? 疑問符	「疑問符」「はてなマーク」	—	—	—
! 感嘆符	「感嘆符」「びっくりマーク」	「感嘆符」※2	「感嘆符」※2	—
() かっこ	「かっこ」／「かっことじ」	—	—	—
「 」 かぎかっこ	「かぎかっこ開く」／「かぎかっこ閉じる」	—	—	—
改行 次の行へ	「改行」「次の行」	「次の行」	「改行」「次の行」	—
段落 1行あける	—※3	「次の段落」	「新しい段落」「次の段落」	—
止める 音声入力を止める	「聞き取りを停止」	— (esc キー)	「音声入力を停止」	「止めて」※1
消す いま言った言葉を消す	「それを削除」	—	—※4	「最後の単語を削除して」※1

「—」は、公式ヘルプに日本語の言い方が載っていないものです。そのときは、あとでキーボードで入れると確実です。

Mac・iPhone は、日本語でも句読点が自動で入ります（「自動句読点」の設定でオフにもできます）。Windows は「句点」「読点」と言うのが基本で、音声入力の画面の歯車から「自動句読点」をオンにもできます。

※1 Android は Google Pixel 6 以降の「高度な音声入力機能」のときです。ふつうの Gboard のヘルプには、日本語の言い方が載っていません。

※2 Apple のコマンド一覧では、半角の「!」が入る例として載っています。

※3 Windows は「新しい段落」と言っても改行1つです。1行あけたいときは「改行」を2回言います。

※4 iPhone の声で直すコマンドは、米国英語だけの対応です。日本語は、まちがった言葉をタップして指で直します。

Google ドキュメントの音声入力は日本語で使えますが、句読点などの音声コマンドは英語だけです。

② 音声入力の始め方・止め方

機械	最初の設定	始める	止める
Windows 11	設定は要らない	Windows ロゴ キー + H インターネットにつながっているときだけ使える	「聞き取りを停止」と言う／マイクのボタン
Mac	システム設定 > キーボード > 「音声入力」をオン	マイクキー（ある機種）／音声入力のショートカット／「編集」 > 「音声入力を開始」 30秒間、声がないと自動で止まる。ショートカットは設定で選べる	esc キー・マイクキー・ショートカット
iPhone	設定 > 一般 > キーボード > 「音声入力」を有効にする	キーボードのマイクのボタン 30秒話さないと自動で止まる	マイクのボタン／「音声入力を停止」
Android（Gboard）	設定は要らない	キーボードの上のマイクのアイコン 高度な音声入力の切り替え：キーボードの上の設定 > [音声入力]	マイクのアイコン（Pixel 6 以降は「止めて」とも）
Google ドキュメント	パソコンのマイクを使えるようにしておく	「ツール」 > 「音声入力」 → マイクをクリック。Ctrl + Shift + S（Mac は command + shift + S） Chrome・Edge・Safari で使える。ショートカットは Chrome のみ	マイクをもう一度クリック

上手に入れるコツ：ゆっくり、はっきり。文の切れ目で、ひと呼吸。まちがいは話し終わってからキーボードで直す。

確認した公式ページ（2026年10月29日）：Microsoft サポート「音声入力を使用して PC でテキストをディクテーターする」／Mac ユーザガイド「Macでメッセージや書類を音声入力する」／Mac ユーザガイド「Macのテキストの音声入力用のコマンド」／iPhone ユーザガイド「iPhoneでテキストを音声入力する」／iPhone ユーザガイド「iPhoneでテキストの音声入力に使えるコマンド」／Apple「iOSとiPadOSで利用できる機能」／Apple「macOSで利用できる機能」／Gboard ヘルプ「音声入力」／Gboard ヘルプ「高度な音声入力機能を使用する」／Google ドキュメント エディタ ヘルプ「音声で入力、編集する」／Google ドキュメント エディタ ヘルプ「Google ドキュメントのキーボードショートカット」